

授業科目名	教育実習事前事後指導（幼）(2100401)		
時間割名	教育実習事前事後指導（幼）(52116)		
時間割担当	善野八千子		
実施期	通年	単位数	1 選択
曜日・時限	金・2		

授業の目標・概要

事前指導においては、幼稚園での実習の目的や意義及び実施方法を具体的に学ぶとともに、望ましい実習の準備や態度を系統的に養う。そして、主体的・効果的に実習を行うための基本知識の習得と心構えを養成する。事後指導においては、実習中に会った諸問題について発表・討議することによって、今後の幼児教育の場での実践への理解を深めるとともに、実習における実習体験を省察することを通して、教師としての実践的知識を明確にする。

学習の到達目標

事前指導

- ・幼稚園での生活を理解し、実習における課題を発見する。
- ・実習生としてふさわしい言動や倫理観を身につける。

事後始動

- ・実習生としての課題を振り返り、実践の場に立つにあたっての課題を確認する。
- ・教書校実践演習における個々の目標を設定する。

授業方法・形式

実習の事前指導

教育実習の意義・目標・方法及び実習の準備・心得を通して、実習における各自の課題などを設定する。毎週1回事前指導を11回行い、そのうち5回は、実習生全員で「実習の手引き」をもとに、講義形式で学ぶ。残り6回は少人数で保育案を実際に作成し、それをもとに模擬保育を行って相互評価をする。11回目は実習直前指導として、諸注意を行う。

実習の事後指導

実習後の指導は、4回行う。実習体験を振り返り、実習中に会った問題や課題について、記録をまとめる。これを通して実践への理解を深め、実習体験の省察を通して、自己の課題を確認する。さらに、実習評価票が返還された際には担当教員と面談を行い、それをもとに4年次後期の教職実践演習における個々の目標を設定する。

授業計画

事前指導

- (1) 教育実習の意義と目的と幼稚園教育についての理解
- (2) 教育実習の目標設定と自己の課題を分析、教育実習の段階的な計画の理解
- (3) 実習全体の心構えと流れの把握(「実習の手引き」使用)
- (4) 実習日誌の目的と実習の注意点(「実習の手引き」「実習ノート」使用)
- (5) 実習日誌の具体的な記入方法(「実習ノート」使用)
- (6) 指導案の立て方と書き方の手順
- (7) 指導案の作成(部分実習)
- (8) 指導案の作成(全日実習)
- (9) 模擬保育の実施と評価(1)
- (10) 模擬保育の実施と評価(2)
- (11) 実習直前指導オリエンテーション、実習関連書類の作成と諸注意

事後指導

- (1) 教育実習のお礼状作成と実習報告書の作成
- (2) 実習の振り返りと報告会 実習経験と今後の課題発表と討議
- (3) 実習の振り返りと報告会 実習経験と今後の課題発表と討議
- (4) 個別面談に向けての自己の課題の整理と総括

成績評価の基準

授業毎に行う小レポート、最終レポートなどをもとに、総合的に評価する

授業時間外の課題

別途指示する。

メッセージ

授業時間内に伝える。

教材・教科書

別途指示する。

参考書

別途指示する。